

小学校第1学年 国語科学習指導案

単元名：「赤ちゃんどうぶつえんをつくろう」（くらべてよもう）

教材名：「どうぶつの赤ちゃん」

指導者 熊野町立熊野第一小学校 安倍 朱里

- 1 日 時 令和3年2月18日（木）4校時
- 2 場 所 1年2組教室
- 3 学年・学級 第1学年2組（30名 男子15名 女子15名）



単元について

本単元は、『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編』における国語の知識・技能（2）ア「共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。」思考力・判断力・表現力等（1）エ「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。」を受けて設定した。本教材の「どうぶつの赤ちゃん」は、問題提起→事例①ライオン→事例②しまうまという構成になっている。それぞれの赤ちゃんの様子は、「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」とに分けられ、1種類の動物の赤ちゃんの様子を読み取る際にも比べながら読むことができる単元となっている。

さらに、「もっと よもう」として、カンガルーが掲載され、比較できるようになっているため、1年生にとって、次々に新たな動物の赤ちゃんの様子を読み取ることは、「次の動物の赤ちゃんはどうなっているのだろう」と期待感を高めることにもつながると考えられる。

学習の終末には、学校図書館にある本を読み、その他の動物についても文章の中の比較の観点から重要な語や文を読み取ってまとめるなど、学習が深められる単元である。

児童の実態

本学級の児童は、1学期2学期に「くちばし」「じどう車くらべ」の学習の中で、挿絵を手がかりに文章内容を理解してきた。「じどう車くらべ」の学習の最後には、「ほかのじどう車のしごととつくりを説明しましょう。」という課題が出され、書いた文章を分析した結果は以下の通りである。

しごととつくりについて説明できた	7人（23%）
しごととつくりについて説明できた（助言を受けて）	18人（60%）
しごととつくりについて説明できていない（文章は書ける）	4人（13%）
しごととつくりについて全く説明できない	1人（3%）

「何を書いたらいいかわからない。」と言いながらも、ほとんどの児童は本に描いてあるいろいろな自動車の絵をじっと見たり、教師に聞いたりしながら、「〇〇はどんなしごとをしています。そのために、どんなつくりになっています。」という文例にそって書くことができた。本学級の児童にとって説明文を書くことは、難しい学習だったが、自動車の絵や助言を手がかりに自分のもっている知識を使って書くことができた。

本児童の友達と共に学ぶことについての意識については、「友達の考えを大切にしながら、共に楽しく学習することができている。」という質問に対して、肯定的な評価が100%である。グループで活動することに対して、とても意欲的に取り組むことができている。しかし、日頃のグループ活動の様子を見ていると、自我が過ぎて揉めたり、一部の児童のみが活動していたりする場面が見られる。

「自分にあった方法で、自分の思いや考えを伝えることができている。」という質問に対しては、97%の児童が、自分の思いを伝えられていると感じている。普段の授業で、伝える方法を助言しているため、書いたり、ペアに相談したり、発表することでそれぞれが思いを伝えているのではないかと考えられる。伝えられていないと感じている3%の児童は、伝え方がわからないと述べていたため、授業の中で十分な支援が必要である。

単元の指導

本単元では、文章構成をとらえさせ、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、文例にそって書く活動を取り入れ、比べながら読む力を身に付けさせたい。単元のゴールには、児童に親しみがあり、興味のある動物

園をもとに「赤ちゃんどうぶつえんをつくろう」を設定した。お世話になっている6年生や2年生を案内することを伝えることで、児童の学習意欲の向上につなげたい。

本教材の読み取りの中心は、生まれた時の様子と、大きくなっていく様子の2点に大別される。生まれた時の様子としては、大きさ・目や耳の様子・親と似ているかの視点をしっかりと押さえる。大きくなっていく様子としては、移動能力・お乳を飲む期間・餌をとる時期の視点を押さえる。そして、「生まれたばかり」「やがて」「1年くらいたつと」などの時間の経過を表す語句に注意して読み、成長の様子を読み取らせる。そのために、教材文を上下に並べて提示したり、ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんが比較できるようなワークシートにまとめたりして読み取らせるようにする。そこで、教材の構成を押さえ、その構成に沿って読むことで内容を把握でき、相手に分かりやすい説明ができるということに気付かせたい。また、教材の文章内容を詳しく理解するために、発見や驚きを取り上げながら読み、教科書の挿絵を活用し、絵からいろいろ想像させたり、実物の大きさがわかる工夫をしたりして、それぞれの赤ちゃんの特徴を理解できるように工夫する。じどう車くらの学習の際に、しごととつくりについて全く説明ができなかった児童（1名）と、しごととつくりについて説明はできていないが文章は書けた児童（4名）には、様子を見ながら、穴埋めのプリントを渡して支援していきたい。

グループの話し合いの場では、相手の意見を大切にしながら、自分の立場を明確にできるようにしたい。そのために、グループ活動の前に、自分の考えをもつ時間を作り、今までの学習や絵を活用させて、グループ活動に入るようにする。また、相手の意見を大切にするために、「わかりました。」といった反応だけでなく、「わたしも同じ考えです。」「どうして～?」「なんで～?」と質問ができるようにし、友達の意見に興味をもち、質問するなど工夫していきたい。考えを伝えられていないと感じている3%の児童には、「どちらの赤ちゃんがすごいとおもいますか。」が表現できるようにカードを活用する。学習を進める中で、比較して読んで思ったことを伝え合うことができるようにしたい。

単元の目標と評価規準

【単元の目標】

- 共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知(2)ア)
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思C(1)ウ)
- 読書に親しみ, いろいろな本があることを知ることができる。(知(3)エ)
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えることができる。(思C(1)ア)
- 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思C(1)カ)

【評価規準】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学びに向かう力
<ul style="list-style-type: none"> ・共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((1)ア) ・読書に親しみ, いろいろな本があることを知っている。((3)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において, 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において, 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において, 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもち, 文章の内容を比べながら粘り強く読むことで, 本から得たことを友達に知らせようとしている。

協働的な学びの場の工夫

○意見を出しやすくするための、発問の工夫

- ・2つの選択肢を提示し、選択させることで、自分の考えを明確にさせる発問を行う。例えば、「ライオンとしまうまの赤ちゃんはどちらがすごいか？」と発問する。児童が選択するときには、2つを比較して考えさせる。「選択させる発問」で、比較する思考を促し、自分の考えを明確にさせる。

○児童が主体的に話し合いに取り組むための手立て

- ・教材の絵や実物の大きさが分かる具体物を活用することで、児童に興味・関心をもたせ、話し合いを深めさせる。
- ・単元のゴールに「赤ちゃんどうぶつえんをつくろう」を設定することで、学習意欲につなげる。

指導と評価の計画

次	時	学習内容（時数）	評 価			
			知・技	思・判・表	主	評 価 規 準 （ 評 価 方 法 ）
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習問題を確認し、学習の見通しをもつ。 ・題名や挿絵から動物の赤ちゃんに興味をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 単元のめあて 赤ちゃんどうぶつえんのせつめいボードをつくることができる。 </div>	○			<ul style="list-style-type: none"> ・動物の赤ちゃんに興味をもち、課題を意識することができている。 （発言・行動観察）
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成を捉える。「問い」と文章全体を三つのまとまりで捉える。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成を捉え、問いと文章全体を三つのまとまりで捉えることができている。 （発言・行動観察）
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・共通する言葉を捉え、比較の観点をつくる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・比べる観点を明確にして、文章を読み、情報を取り出している。 （ワークシート・発言）
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を比べながら読み取る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を、比べる観点到当てはまる言葉や文を書き抜きながら読んでいます。 （ワークシート・行動観察）
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子（移動能力）を比べながら読み取る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を、比べる観点到当てはまる言葉や文を書き抜きながら読んでいます。 （ワークシート・行動観察）
	6 （本時）	<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子（お乳を飲む期間、自分で食べ物を取って食べる時期）を比べながら読み取る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を、比べる観点到当てはまる言葉や文を書き抜きながら読んでいます。 （ワークシート・行動観察）

3	7	・カンガルーの赤ちゃんを、ライオンとしましまの赤ちゃんと比べながら読み取る。		○	・カンガルーの赤ちゃんを読み、比べる観点を意識して、必要な言葉や文を書き抜きながら読んでいる。 (ワークシート・行動観察)	
	8 ・ 9	・いろいろな動物の赤ちゃんの説明文を、比べる言葉に気を付けながら読み取る。		○	○	・図鑑や絵本などを読み、自分が知りたい動物について調べている。 (行動観察) ・知りたいことについて、進んで調べようとしている。 (あかちゃんどうぶつえんのせつめいボード・行動観察)
	10 ・ 11	・調べたことをもとに、構成や述べ方を意識しながら自分なりの「赤ちゃんどうぶつえんのせつめいボード」を作る。			○	・関連する本を読んで分かったことを、友達と共有している。 (ワークシート・行動観察)
他 教科 との 関連	図 画 工 作 科	単元名「ならべて ならべて」 自分で調べた動物の赤ちゃんを紙や段ボールなどの材料を使って作成する。				
	生 活 科	単元名「もうすぐ2ねんせい」 図画工作科で作成した動物を教室に飾り、2年生、6年生を招待して案内する。				

本時の学習 (6/11 時間)

本時の目標

ライオンとしましまの赤ちゃんが大きくなっていく様子を比べながら読むことができる。

- (1) 準備物 教科書, ワークシート, 実物大, 穴埋めの支援シート, 学習計画表
- (2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 ◎支援を要する児童への手立て	評価規準 (評価方法)
1 問題を把握し、本時の課題を設定する。		
○前時の学習で整理した比較の観点と、本文の構成を確かめる。	・比較の観点を確認させる。	
2 めあてを設定する。		
【めあて】ライオンとしましまの赤ちゃんが大きくなっていくようすをくらべながらよんでプリントにまとめることができる。		
○ライオンとしましまの赤ちゃんが「大きくなっていく様子」の④・⑦段落を音読する。	・段落を確認し、何が書かれているかを意識しながら読むように促す。	
3 自分の考えをもつ。		

○比較の観点を意識して、それぞれの赤ちゃんの赤ちゃんが大きくなっていく様子を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> 必要な言葉を正しく書き抜くことを意識させる。 ◎読み取りの難しい児童に対しては、穴埋めのワークシートを渡して自力で取り組めるようにする。 	【思考力・判断力・表現力】 ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を、比べる観点到当てはまる言葉や文を書き抜きながら読んでいる。 (ワークシート・行動観察)
---	---	--

4 交流する。

○自分で読み取ったワークシートをもとに、ペアで確認し、全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 内容の理解を深めるために、語彙の確認をしたり、挿絵を活用したりする。 	
-------------------------------------	--	--

★5 協働的な学びの場。

○ライオンとしまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子を比べてどちらがすごいと思うか自分の考えを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもつ時間を保証する。 文章を読んで感じたことや分かっていたことを基に、自分の考えを交流する。 話し合いでは、反応したり質問したりすること、意見が変わってもよいことを確認する。 出た意見を全体で交流して、授業のまとめをする。 	
--	--	--

6 本時のまとめをする。

○本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> 比べながら読むことのよさに気付かせる。 	
-------------	---	--

【まとめ】くらべてよむと、ライオンとしまうまの赤ちゃんのちがいがよくわかる。

7 本時の振り返りをする。

○本時の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ライオンとしまうまの赤ちゃんを比べて読むことで、わかったことや気付いたことを発表させて、次時につなげさせる。 友達と意見を交流したことについても、振り返らせる。 	
--------------	---	--

板書計画

④ 赤ちゃんのちがいがよくわかる。

⑤ 赤ちゃんのちがいがよくわかる。

はなしあいのルール

じぶんだけ たべる	おちちだけ のんでいる	
		ライオン
		しまうま

本文

【ポイント】

どのようにして大きくなっていくのでしょうか。

どうぶつ
の赤ちゃん

④ ライオンとしまうまの赤ちゃんが大きくなっていくようすをくらべながらよんでプリントにまとめることができる。

5

参考文献

- ・文部科学省（2018年）『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編』
- ・文部科学省 国立教育政策研究所（2020年）『「指導と評価の一体化」のための学習指導評価に関する参考資料（小学校 国語）』東洋館出版社